



青年部綱領

われわれ茶道を愛好する青年としての自覚により淡交会の諸活動に協力し、お茶を通じて良識ある近代人としての人間形成に努め、同志的結合によって結ばれた友情と情熱で正しい地域社会発展のために努めよう。

発行：茶道裏千家淡交会新潟青年部

編集：新潟青年部



新潟支部幹事長 田中宗房先生

3月9日青年部総会で幹事長として初めて挨拶をさせて頂きました。その時、目の前の皆様を見てこれからの新潟支部にはこんな心強い若者達がいてくれるんだととても嬉しく思いました。皆様方の地域に根ざしいろいろなイベントを企画、実行する行動力、柔軟な発想力、そして前向きに挑戦する気持がこれからの裏千家を支えるとても大きな力となると思います。

11月23日開催予定の創立60周年記念式典に向けて一丸となって頑張る姿を頼もしく拝見しつつ、支部としても全力でバックアップできればと思います。

仲間との絆を大切に、これから一歩一歩確実に歩んで下さい。

応援しています。



新潟支部青年部育成委員会副委員長
および青年部監事
田中宗恵先生

「育てる」ということ

爽やかな季節となり、お茶会シーズン到来です。新潟田市でも25日に市民茶会が開催されますが、裏千家の席を毎年掛けることが難しくなってきました。ある方から「後継者を育ててこなかったから」と指摘され、ショックでした。青年部育成委員を仰せつかっていることもあり「育てる」とはどのようにすればよいのか？と、考える毎日です。

先日お邪魔したアートミックスジャパン青年部の呈茶席で、お子さんや若い方が楽しそうに茶道体験をなさっていました。気負うことなく、このように茶道の種をまいてそれを育てていくことが大切だと思った次第です。今年も一緒に茶道を楽しみましょう！



新潟青年部部長

酒井香織

(川合宗真社中)

令和7・8年度の新潟青年部の部長を仰せつかりました、酒井香織と申します。

今期の新潟青年部のテーマは『茶の湯の楽しみ分ち合ってひろげよう』といたしました。青年部には、背景の異なるさまざまな人たちが、お茶を通じて集まりその楽しさを共有できる特別な魅力があります。その楽しさはたくさんの人と分かち合ってこそさらに増幅されるように感じています。

青年部の仲間と、さらにその周りにいる人たちに『茶の湯』の深く広い楽しさをひろげていけるように、みなさまのお力をお借りしながら活動していきたいと思っています。

そして新潟青年部は今年、発足から60周年を迎えます。11月23日(日)にはご宗家から伊住禮次朗様をお迎えし、60周年の記念茶会・式典・講演会・祝賀会を開催いたします。この記念行事へ向けても会員全体で力を合わせていきたいと思えます。みなさま、どうぞアイデアと体力をお持ちください。

日頃より先生方のご理解とご協力を賜り、また先輩方のたくさんの方の努力と工夫で築かれてきた青年部の60年を、さらにその先へとつなげる2年間、身が引き締まる思いです。どうぞよろしくお願いいたします。

総会&講演会



新潟県立歴史博物館
学芸員 渡辺さんより
「お菓子和新潟」の講演を
行っていました。



委員長紹介



上越委員会委員長

小坂恵美

(有澤宗香社中)

上越委員会

は、茶道に関する見聞を広げ、茶道具を自前で作っていくこと、また、茶道の楽しさを伝えて会員が増えることを目指して活動しています。上越地方には、多くの作家がいらっしやるので、交流し作品を作っています。

また、親子イベントや小学生のイベントなどにも積極的に参加して、子供たちやお母さん世代にも茶道に触れていただく機会を作っています。距離があります。が、楽しい行事が、沢山あります。是非お出かけください。



研修・交流委員会
委員長

山子文孝
(石川宗嗣社中)

いき込みは、「感謝」です。やる気がなくても、失敗しても、情けなくても、後悔しても、それでも「ただただ感謝」して、前を向いて、胸を張って、出来ることを自分の加減で、進めるメディアを覗くと多くの情報が入りますが、まずは自分の目の前にある身近な事に目を向けて、行事を立案し、全うしたいです。

幾重もの教え切れぬ程の万物の営みにいかされている。色々と思いを巡らせても、怠け者で不束者の私は、単純に感謝だけを胸に事に触れよう。



学校茶道委員会
委員長

富樫あゆみ
(磯部宗喜社中)

子どもたちが茶道教室への参加を通じて、実際に道具やお点前を目で見たり、お茶を飲んだりすることで、それぞれが新たな感覚を得るきっかけとなれば良いなと考えております。

昨今、茶道のみならず後継者不足が社会課題となっており、このような活動を地道に行なっていくことが問題の改善に繋がると考えています。青年部の私たちが自身も子どもたちに教えることは新しい学びに繋がる機会であると感じています。

力不足ではありますが、楽しい活動にしたいと考えておりますので、多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。よろしく願います。

令和6年行事(11～12月)			令和7年行事(1～3月)		
11月	17日	卒業生を送る会 & 忘年会	3月	9日	総会 & 講演会
12月	14日	おやこクリスマスフェス			
12月	22日	クリスマスお菓子作り			



卒業生を送る会 & 忘年会



20年近く在籍した青年部を昨年12月末に卒業し、たまに長い道のりを振り返って楽しんでいます。

青年部に入って一番良かったことは、何といても友人がたくさんできたことです。イベントや研修を通じて新潟県、北陸信越ブロックを越え、全国各地につながりができました。

青年部時代は、さまざまチャレンジできる機会があると思いますので、皆さまも存分に楽しんで良い時間をお過ごしください！大変お世話になりました。

青年部を卒業して



齋藤夏湖さん
(片山宗雪社中)

約10年間の青年部の思い出として思い出されるのが、50周年記念茶会に初めて沢山のお客様を前にお点前をさせて頂いた事です。入部して間もない頃だったので、役割を全う出来るかとても心配でした。入部した頃は先輩方が結構いらっしゃったので、先輩方を頼み、自分の役割のみに徹する事が出来たので何とか乗り越えられました。

青年部の良さは年齢関係無く茶道と言う同じ目的の元、活動を通して共感を共有出来る事かと思っています。又、人生哲学が流れている茶道だからこそ一体感が共有出来る事も確かです。そんな茶道を死ぬまで楽しみたいと思います(笑)大変お世話になりました。ありがとうございます。



村田有さん
(片山宗雪社中)



小川菜々さん
(山口宗好社中)

マミーズ・ネットさん主催の行事、おやこクリスマスフェスに青年部として参加し、お客様にお抹茶を飲んで頂いたり、抹茶を点てる体験をして頂きました。普段お茶の世界に触れる機会が無い方や、お子さんが小さいので遠慮されている方にも、親子で一緒にお茶の世界に触れて頂こうと、工夫しました。お席は堅苦しくせず、クリスマスらしい設えにしながらも、朱傘やお棚を使い、お茶の雰囲気を感じて頂けるようにしました。大人やお抹茶を飲めるお子さんにはお菓子とお抹茶を、お抹茶が飲めない小さいお子さんには気軽に使えるお茶碗にジュースを入れたものと、赤ちゃんせんべいを提供しました。

お抹茶を飲んで頂いた方のお子さんには、ジュースとおせんべいを無料で提供したのが、とても好評でした。小さなお子さんでも、お抹茶を点ててみたいと、点前座に座ってお茶を点てる体験を下さる方が何人もおり、小さい手で一生懸命茶せんを振ってくれたのが印象的でした。泡がたたなくても、飲んでみて、「苦いけど甘味もあっておいしい!」と言ってくれたり、その後、点てなおしてあげると、「味が変わった!」とキラキラした顔で言ってくれたり、またその様子を親御さんにもここに見守っていたり、始終楽しい雰囲気でした。会員の皆さんとも、お客様で来てくださった皆さんとも、お茶を通して楽しく交流ができた、楽しい一日になりました。

おやこクリスマスフェス



クリスマスお菓子作り



相馬智里さん
(磯部宗喜社中)

12月22日に参加したクリスマスのお菓子作りで、フルーツケーキを作りました。先生の丁寧で分かりやすいご指導のおかげで、自分だけでは作れないような本格的なケーキを作ることができ、嬉しさと感動でいっぱいでした。一緒に参加した娘も大喜びで、家に帰ってからは家族とおいしくいただき、心温まる楽しいひとときを過ごすことができました。

クリスマス特別なお出でとなりました。参加させていただき、ありがとうございました。